教職課程センター紀要　第1号　143－145ページ，2016年12月
Jour. Center Teacher Develop. Edu. Res., Daito Bunka Univ., No.1 143－145, Dec. 2016

研究ノート

日中親族語彙の比較に関するアンケート調査分析

A contrastive study of Japanese and Chinese vocabulary for family and relatives: A questionnaire survey

山内智恵美

Chiemi YAMAUCHI

Key words：親族呼称，意識調査，若者と漢字，日中比較

はじめに

本研究ノートは，日常生活における日本語の親族間の呼称では，どのような語彙が使われ，どのような語彙が認知されているかをアンケートの手法を用いて実態を調査し，その結果を分析するものである。

中国語の親族呼称が煩雑且つ複雑である点は，中国語の学習歴がある人であれば，誰もが感じていることであり，この点については多くの碩学たちの研究がある。日本語の親族呼称表記は，漢字が使用される場合も多いことから，中国語の親族呼称から受容されたと考えられることが多い。しかしながら，日本語の親族呼称が，中国語の影響を受けたと考えるにはいくつかの疑問点が生じる。

筆者は，日本語の親族呼称表記が中国語から影響を受けたと考えられている点，別の角度から考えると，日本語の親族呼称が中国語から影響を受けたとしても，なぜ日本語においてはあれほど簡略化または単純化されたのか，ということを検証するための分析材料の一つとして実態を調査するものである。

一，アンケートの方法と手段

アンケートは，18歳から22歳までの大学生100人に，日本語の親族呼称一覧表[1]を提示し，以下の二つの質問を複数回答で答えてもらう形をとった。

質問1：日本語の親族呼称の中で，あなたが知っているものに○をつけて下さい（複数回答可）。

質問2：日本語の親族呼称の中であなたが実際に使ったことがあるもの，または使っている場面を見たり，聞いたりしたことがあるものに◎をつけてください（複数回答可）。

アンケートに使用した表の太黒線で囲まれた部分は，一親等を中心とする呼称であり，日常生活で常時使われる語彙であり，認知や使用を尋ねる意味がないため，煩雑になることを避けるために質問対象から除外した。また，表は，自分を中心に直系と傍系に分け，それぞれ等親が遠くなるに従い，自分より離れた位置においた。

二，結果と検証

アンケートの結果から注目すべきいくつかの点があげられる。

その1は，近年，若者において漢字離れが進んでいるという印象を持つことが多いが，これはただの印象に過ぎないため，親族呼称語彙の使用において，漢字表記がいったいどの程度使われているのかは不透明であった。アンケートは100名の学生という簡単なものであり，アンケート結果から一概に結論付けることはできないが，ある程度の傾向や実態をつかめるのではないかと期待した。予想では，漢字呼称は敬遠されているという予想であったが，結果をみて驚いた。表の通り，一親等内の呼

1）アンケートに用いた表は，タイトル「高杉親知の日本語内省記：親族名称の比較」（http://www.sf.airnet.ne.jp/ts/language/kinship.html　2016年5月10日）を参考にし，筆者により一部変更を加えた。

表1：日本語直系・傍系親族一覧：質問1に対する集計結果（数字はパーセントを表す）

世代	直系	傍系 +1	傍系 +2	傍系 +3
−4	男：高祖父　10 女：高祖母　10	高祖父母の兄：高祖伯父　1 高祖父母の弟：高祖叔父　1 高祖父母の姉：高祖伯母　1 高祖父母の妹：高祖叔母　1		
−3	男：曾祖父　38 ひいおじい　25 女：曾祖母，37 ひいおばあ　23	曾祖父母の兄：曾祖伯父　1 曾祖父母の弟：曾祖叔父　2 曾祖父母の姉：曾祖伯母　1 曾祖父母の妹：曾祖叔母　2		
−2	祖父，おじいさん 祖母，おばあさん	男：おおおじ　17 女：おおおば　17	男：いとこおおおじ　1 女：いとこおおおば　1	
−1	総称：親 男：父 女：母	男：おじ 女：おば	総称：いとこちがい　5 男：いとこおじ　5 女：いとこおば　5	
0	本人	総称：きょうだい 年上男：兄 年下男：弟 年上女：姉 年下女：妹	総称：いとこ　15 年上男：従兄　21 年下男：従弟　21 年上女：従姉　19 年下女：従妹　21	総称：はとこ　19 またいとこ　21 年上男：再従兄　11 年下男：再従弟　11 年上女：再従姉　12 年下女：再従妹　11
+1	総称：子 男：息子 女：娘	男：甥 女：姪	総称：いとこちがい　5 男：従甥　2 女：従姪　2	
+2	総称：孫　36 男：孫息子　29 女：孫娘　31	総称：姪孫　6 男：又甥　2 女：又姪　2	総：従姪孫　0	
+3	総称：曾孫　16	総称：曾姪孫　0		
+4	総称：玄孫　6	総称：玄姪孫　0		

直系	傍系		
曽祖父　16 曽祖母　16			
		従兄　14　従弟　12 従姉　14　従妹　12	再従兄　1　再従弟　2 再従姉　1　再従妹　2
孫　51 孫息子　14　孫娘　17			
曾孫　6			

称を除き，漢字が使用される割合は僅かであった。よって，日本語の親族呼称は，表面的には漢字表記が存在するが，実際に漢字で表記する人は，益々少なくなっている，という予想が正しいことが実証された。

その2は，質問2の「いとこ」「孫」の結果である。「いとこ」という総称を実際に使用したり，使用している場面を見たり聞いたりしたことがある学生は81％であり，日常的に使われていると判断できる。一方，中国語の呼称で重視している性別や自分より年齢が上か下かという点においては，使い分けを行うと考えられる者がわずか最大で14％しかいない。これは，「はとこ」「またいとこ」についても同様のことが言える。

その3は，「孫」という総称を使用，または使用しているのを聞いたことがある学生は51％であり，性別による「孫息子」「孫娘」の14％，17％から比較すると大差がある。つまり，日本では，性別や年齢差を意識した呼称よりも，単純に簡略化した存在だけを表す呼称が一般化し，益々その傾向が強くなっていることがわかる。

注目したいのは，「いとこ」の81％に対して，「孫」が51％にしか達していない点である。どちらも総称であり，

表２：日本語直系・傍系親族一覧：質問２に対する集計結果（数字はパーセントを表す）

世代	直系	傍系		
		+1	+2	+3
−4	男：高祖父　0 女：高祖母　0	高祖父母の兄：高祖伯父　0 高祖父母の弟：高祖叔父　0 高祖父母の姉：高祖伯母　0 高祖父母の妹：高祖叔母　0		
−3	男：曾祖父　16 ひいおじい　28 女：曾祖母　16 ひいおばあ　31	曾祖父母の兄：曾祖伯父　0 曾祖父母の弟：曾祖叔父　0 曾祖父母の姉：曾祖伯母　0 曾祖父母の妹：曾祖叔母　0		
−2	祖父、おじいさん 祖母、おばあさん	男：おおおじ　2 女：おおおば　3	男：いとこおおおじ　0 女：いとこおおおば　0	
−1	総称：親 男：父 女：母	男：おじ 女：おば	総称：いとこちがい　0 男：いとこおじ　0 女：いとこおば　0	
0	本人	総称：きょうだい 年上男：兄 年下男：弟 年上女：姉 年下女：妹	総称：いとこ　81 年上男：従兄　14 年下男：従弟　12 年上女：従姉　14 年下女：従妹　12	総称：はとこ　26 またいとこ　20 年上男：再従兄　1 年下男：再従弟　2 年上女：再従姉　1 年下女：再従妹　2
+1	総称：子 男：息子 女：娘	総称： 男：甥 女：姪	総称：いとこちがい　0 男：従甥　0 女：従姪　0	
+2	総称：孫　51 男：孫息子　14 女：孫娘　17	総称：姪孫　0 男：又甥　0 女：又姪　0	総称：従姪孫　0	
+3	総称：曾孫　6	総称：曾姪孫　0		
+4	総称：玄孫　0	総称：玄姪孫　0		

直系，傍系の２親等にあたる。この数字の違いは，原因として２点が考えられる。一つは，回答者である学生から考えると，孫の存在は考えられないが，いとこは存在する可能性が高い。回答者を中心に存在するか否かで差がでた可能性が高い。２点目は，回答者にも祖父母は存在するが，その祖父母から孫という呼称よりも，「〇〇ちゃん」「〇〇君」などの愛称で呼ばれていることによるものである。つまり，親族関係における位置づけが重視されない，欧米諸国の呼称に近い呼び方が日本に存在することである。

三，まとめ

本アンケートを行うにあたり，日本語の親族呼称が中国語と異なり，性別や長幼を重視しない，総称的呼び名で呼ばれる事が多くなっているのではないか，と言う仮説を立て若者である大学生において，どの程度の割合で，性別や長幼を組み込んだ親族呼称が認知され，また使用されているかを調べた。結果としては，当初の仮説の通り，中国語の親族呼称とは異なり，日本では，「いとこ」のような総称的呼び名が使われ，「従弟」「従姉」「従兄」「従妹」のような性別や長幼をも含んだ表記があまり使われない，また認知されていないことがわかった。この原因は，社会における親族関係，特に父系に基づいた親族関係の重要性と関連があると同時に，日本語が「従弟」「従姉」「従兄」「従妹」などの漢字表記も存在するが，このどれもが「いとこ」という発音であることや，漢字表記がしだいに使われなくなってきていることにも由来すると考えられる。